

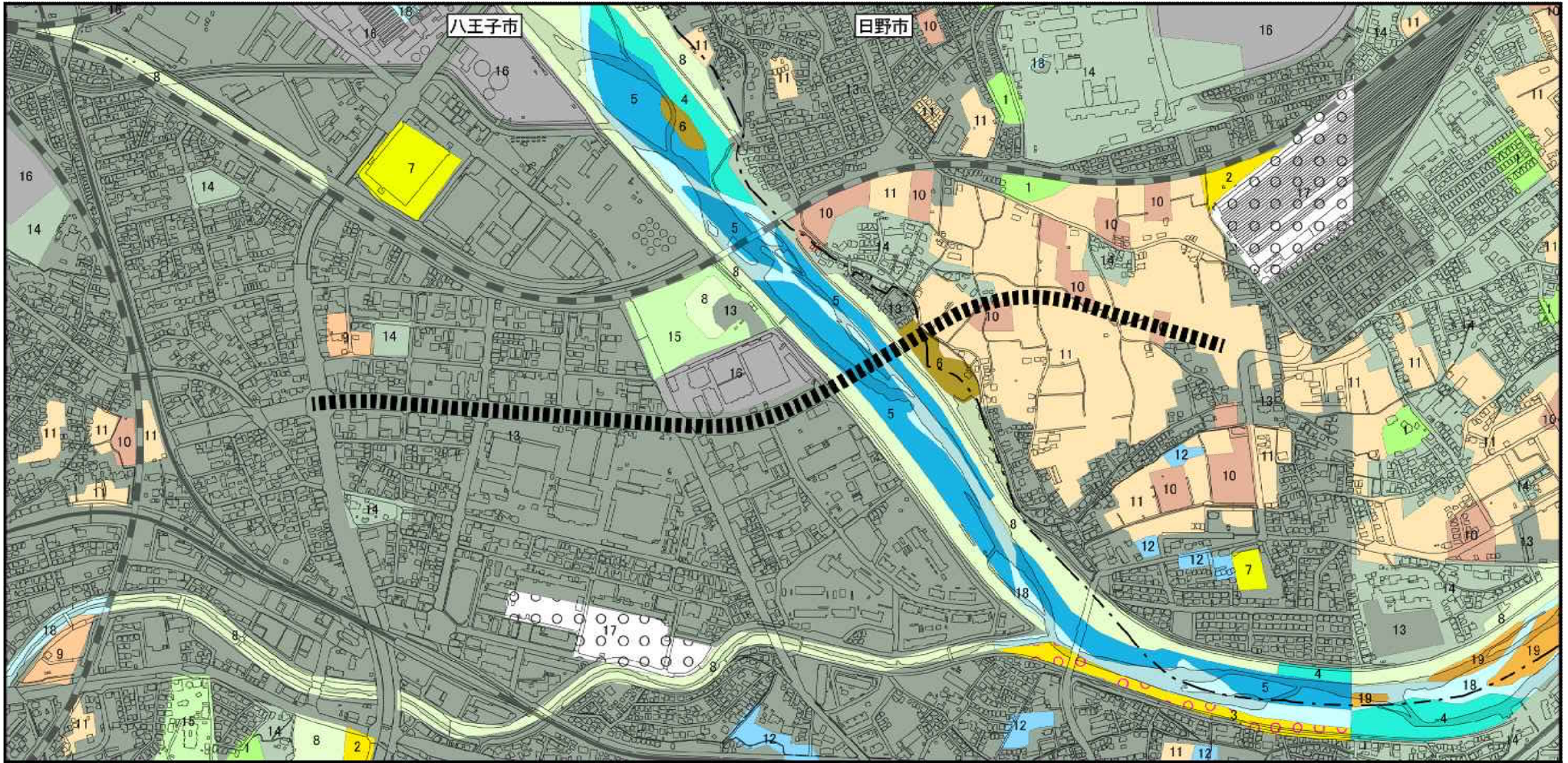
6.2-9 生物・生態系

(1) 植物

計画道路周辺の植生の状況は図 6.2.18 に、注目される植物群落等の位置は図 6.2.19 に示すとおりである。

計画道路周辺の植生は主に畑雑草群落や市街地であり、クヌギ-コナラ群落、果樹園、水田雑草群落、緑の多い住宅地、工場地帯等が点在する。また、計画道路が通過する浅川の河道内には、オギ群集や路傍・空地雑草群落等が連続して分布している。計画道路は、主に畑地雑草群落、河辺一年生草本群落（タウコギクラス）、ニセアカシア群落、果樹園、市街地、開放水域を通過する。

計画道路周辺には、注目される植物群落として、「第6回自然環境基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査」（平成13年3月、環境省自然環境局）で確認されている巨樹・巨木（ケヤキ）が分布しているほか、「ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～」(平成30年3月、日野市)において生物多様性の観点で重要となる場所として選定されている「さいかち堰（浅川左岸の水路がつくった池の周辺）」がある。なお、「第5回自然環境基礎調査 特定植物群落調査」（平成12年、環境庁）の特定植物群落、「植物群落レッドデータブック」（平成8年、(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会）の保護上重要な植物群落、「文化財保護法」（昭和25年5月30日法律第214号）ならびに東京都、日野市及び八王子市の文化財保護に関する条例、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日法律第75号）、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（平成4年9月28日条約第7号及び外務省告示第460号）及びその他の自然保護に係る法令・条例で指定されている植物群落等はない。また、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」(平成28年4月、環境省自然環境局自然環境計画課)、「日本の地形レッドデータブック 第1集 -危機にある地形-」（平成12年、古今書店）、「日本の地形レッドデータブック 第2集 -保存すべき地形-」（平成14年、古今書店）に掲載されている植物群落等はない。



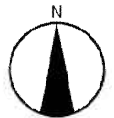
凡例

- 計画道路
- - - 市界

植生図凡例

- | | | |
|----------------------|-------------|----------------------|
| 1 クスギ・コナラ群集 | 7 ゴルフ場・芝地 | 14 緑の多い住宅地 |
| 2 アズマネザサ・ススキ群集 | 8 路傍・空地雑草群落 | 15 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 |
| 3 ナガヤススキ群落 | 9 放棄畑雑草群落 | 16 工場地帯 |
| 4 オギ群集 | 10 果樹園 | 17 造成地 |
| 5 河辺一年生草本群落(タウコギクラス) | 11 畑雑草群落 | 18 開放水域 |
| 6 ニセアカシア群落 | 12 水田雑草群落 | 19 自然裸地 |
| | 13 市街地 | |

資料：「第6回・第7回自然環境保全基礎調査植生調査情報(自然環境調査Web-GIS)」
(平成11年～、環境省自然環境局)



1:10,000

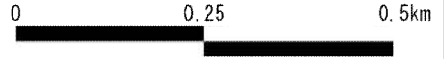
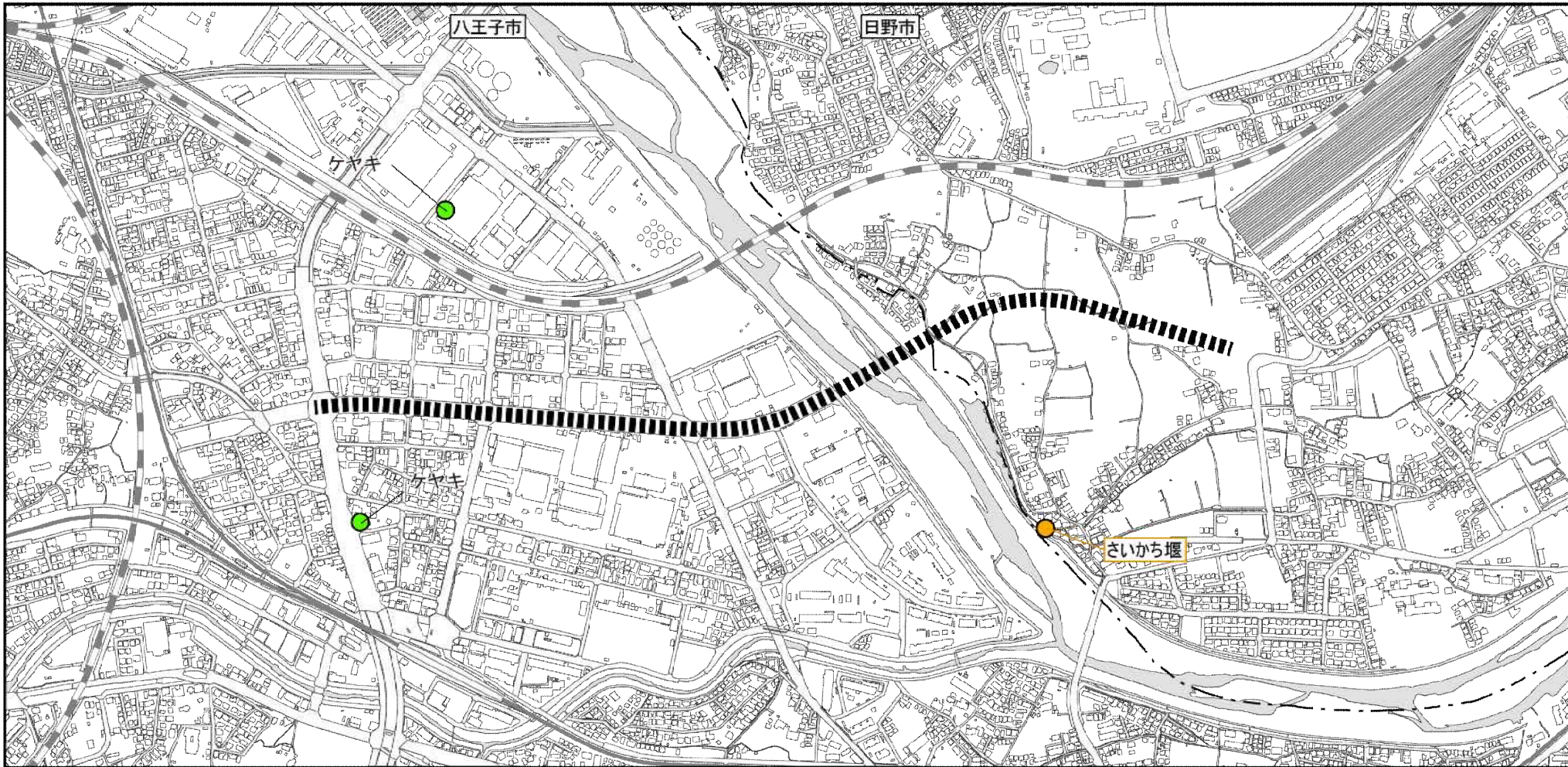


図 6.2.18 現存植生図

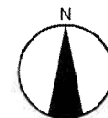


凡例

- 計画道路
- - - 市界

- 巨樹・巨木
- 生物多様性の観点で重要となる場所

資料：「第6回自然環境基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査情報
 (自然環境調査 Web-GIS)」(平成13年3月、環境省自然環境局)
 「ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～」
 (平成30年3月、日野市)



1:10,000

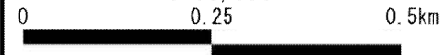


図 6.2.19 植物の状況

(2) 動物

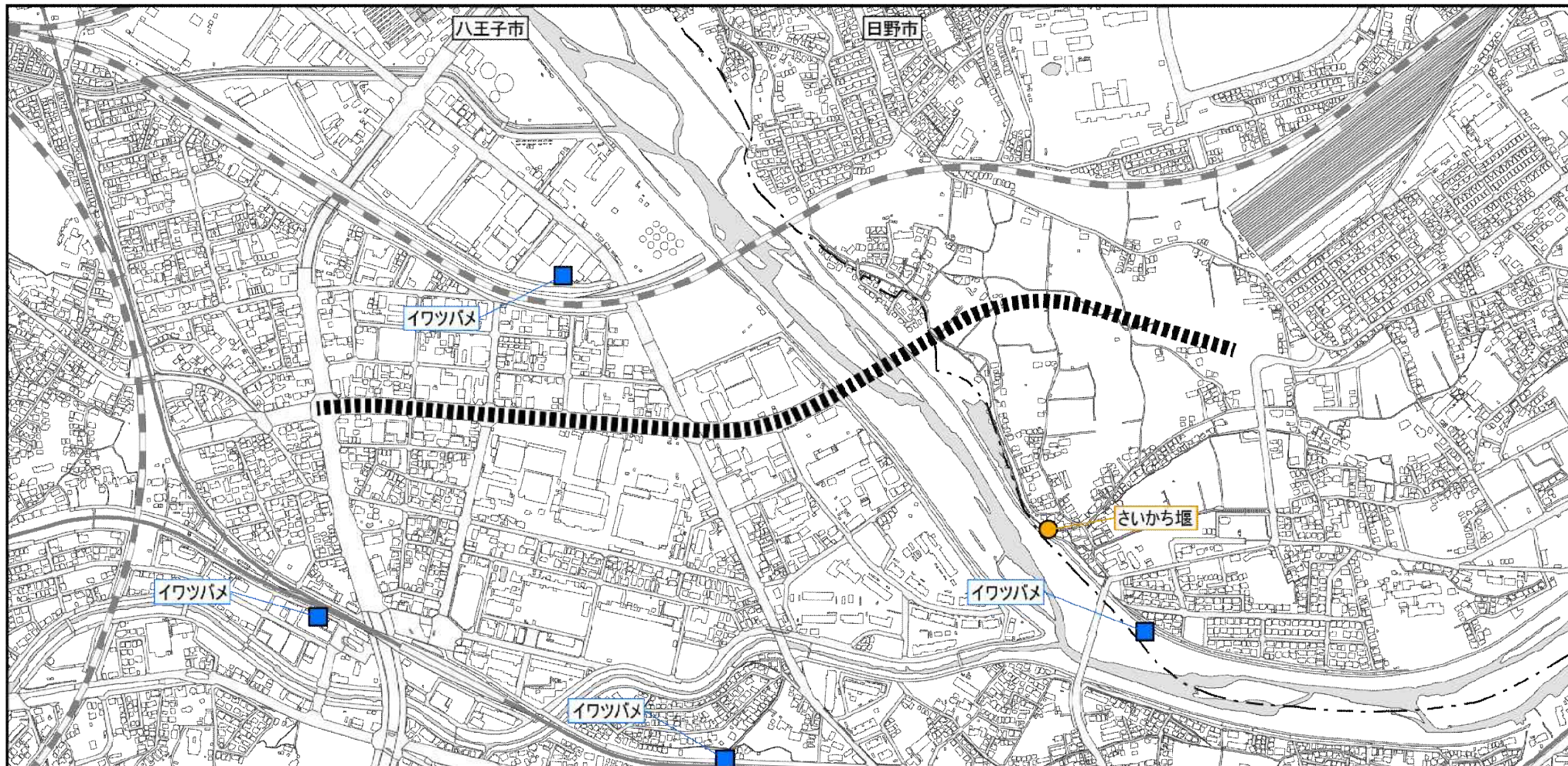
計画道路周辺の注目される生息地は、図 6.2.20 に示すとおりである。計画道路周辺には、「第 4 回自然環境保全基礎調査 東京都自然環境情報図」（平成 7 年、環境庁）で確認されている「イワツバメの集団繁殖地」が分布しているほか、「ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～」(平成 30 年 3 月、日野市)において生物多様性の観点で重要となる場所として選定されている「さいかち堰（浅川左岸の水路がつくった池の周辺）」がある。

計画道路周辺の動物相については、「ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～【別冊】生物多様性基礎調査」（平成 30 年 3 月、日野市）によると、日野市内では哺乳類はアズマモグラ、アブラコウモリ、イタチ等 19 種、鳥類はオオタカ、コチドリ、カワセミ等 245 種、は虫類はクサガメ、カナヘビ、ヒバカリ等 14 種、両生類はアズマヒキガエル、アマガエル、ツチガエル等 10 種、昆虫類はヒラタクワガタ、カヤキリ、ヒゲナガカメムシ等 2,428 種、クモ類はヒラタグモ、キザハシオニグモ、ナガコガネグモ等 157 種、魚類はオイカワ、カマツカ、カワムツ等 39 種、底生動物はユスリカ的一种、ウデマガリコカゲロウ、ウルマーシマトビケラ等 202 種が確認されている。

「平成 30 年度日野市水生生物調査 調査報告書」（平成 31 年 3 月、日野市）によると、日野市内の河川（多摩川、浅川）においては、魚類はオイカワ、カワヨシノボリ、アブラハヤ等 10 種、底生動物はミツオミジカオフトバコカゲロウ、ウデマガリコカゲロウ、アメリカツノウズムシ等 54 種が確認されている。用水路においては、魚類はカワヨシノボリ、オイカワ、カワムツ等 18 種、底生動物はシジミ属の一種、カワリヌマエビ属の一種、アメリカツノウズムシ等 92 種が確認されている。

「新八王子市史自然調査報告書 八王子市動植物目録」（平成 28 年 3 月、八王子市）によると、八王子市内では哺乳類はノウサギ、タヌキ、イノシシ等 36 種、鳥類はキジ、アオサギ、ノスリ等 238 種、は虫類はニホンイシガメ、ヒガシニホントカゲ、シマヘビ等 15 種、両生類はトウキョウサンショウウオ、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル等 15 種、昆虫類はルリボシカミキリ、ルリシジミ、アシナガアリ等 4,782 種、クモ類はチリグモ、ユカタヤマシログモ、ネコハグモ等 465 種、魚類はオイカワ、ホトケドジョウ、アユ等 44 種、淡水産貝類はオオタニシ、マルタニシ、サカマキガイ等 8 種が確認されている。

「平成 30 年度 八王子市 16 河川生物調査」（平成 30 年度、八王子市）によると、八王子市内の河川においては、魚類はアブラハヤ、カワムツ、シマドジョウ等 14 種、底生動物はサナエトンボ科の一種やガガンボ類、カワニナ等 41 種が確認されている。

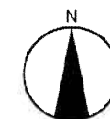


凡 例

- 計画道路
- - - 市界

- 東京都自然環境情報図による鳥類の集団繁殖地
- 生物多様性の観点で重要となる場所

資料：「ひの生きものプラン～日野市生物多様性地域戦略～」
 (平成30年3月、日野市)
 「第4回自然環境保全基礎調査 東京都自然環境情報図」
 (平成7年、環境庁)



1:10,000
0.25

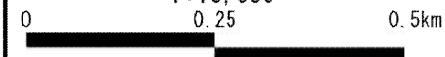


図 6.2.20 動物の状況